

霧島山（御鉢）

概況

霧島山御鉢の火山活動が活発になっています。12日と15日に火山性微動が発生し、13日から御鉢火口内の噴気活動が活発になっています。

今後、御鉢火口付近では小規模な噴火が発生する恐れがありますので十分注意してください。

噴気活動の状況

霧島山の御鉢火口は13日から噴気活動が活発になっています。御鉢火口の噴気は13日17時20分には火口縁から200mの高さまで噴き上げました。

14日の現地観測では、御鉢火口内南側壁の中腹に新しい噴気孔が2ヶ所形成され、少量で白色の噴気が火口縁上100mまで上がっているのを確認しました。噴気孔の周囲約10m以内には、泥と2～3cmの小石を飛ばした形跡が見られました。

15日に鹿児島県の協力を得て行った上空からの観測では、前日同様、少量で白色の噴気が火口縁上100mの高さに上がっているのを観測しました。

16日の現地観測でも噴気の状態に大きな変化は見られませんでした。

地震・微動活動の状況

气象台機動観測点および東京大学高千穂西観測点(御鉢火口の西1.1km)の震動観測で、12日に御鉢付近を震源とする火山性微動を観測しました。東京大学高千穂西観測点のデータによると、12日11時14分に継続時間40分間で最大振幅14.2 $\mu\text{m/s}$ の比較的中規模の火山性微動が1回発生しました。また、15日11時20分にも継続時間5分で、最大振幅10.8 $\mu\text{m/s}$ の比較的中規模の火山性微動が発生しました。

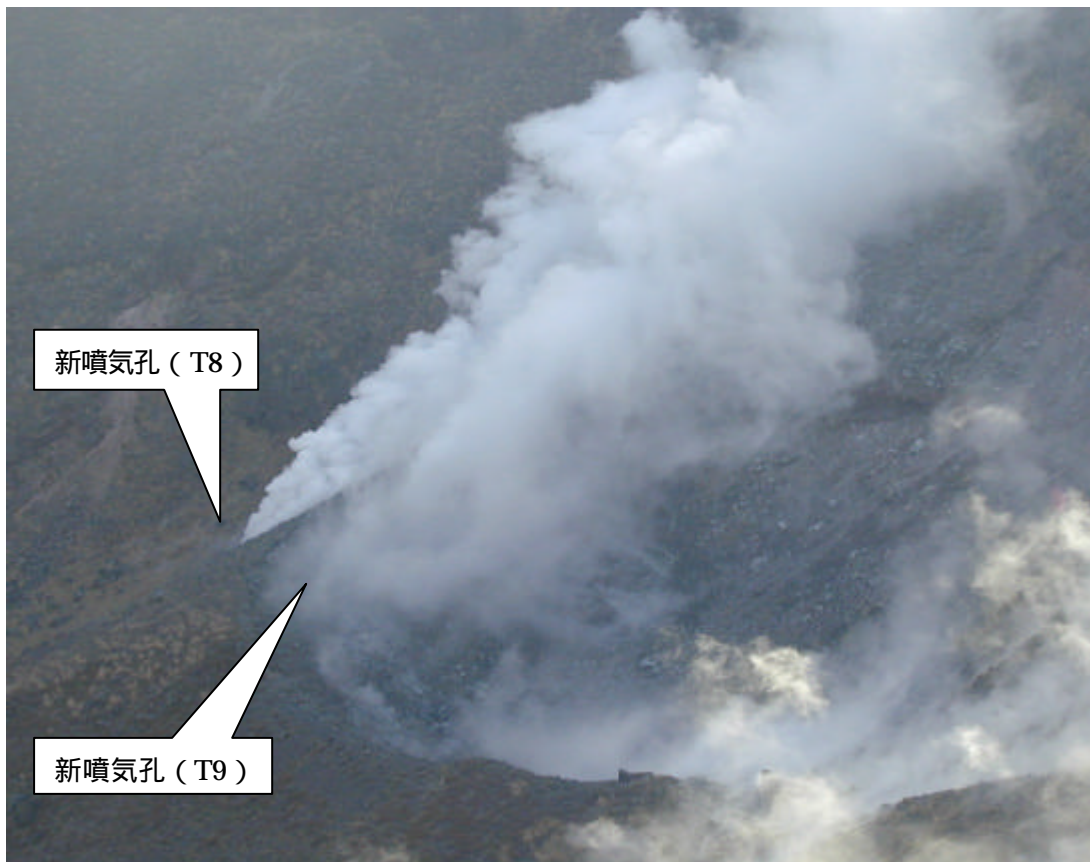
火山性地震の発生回数は12日11回、13日4回、14日9回、15日11回、16日23回とやや増加し、やや多い状態で推移しています。17日は08時現在9回です。

地殻変動活動の状況

GPSによる地殻変動観測では、御池 - 高千穂、御池 - 高原、高千穂 - 高原、御池 - 中岳、御池 - 高千穂峰、中岳 - 高千穂峰の各観測点間の基線長に火山活動に起因する変化は見られませんでした。



霧島山・御鉢火口の噴気（平成 15 年 12 月 16 日、御鉢火口縁西部から撮影）



新噴気孔 T 8 , T 9（平成 15 年 12 月 15 日、鹿児島県消防防災ヘリから撮影）



新噴気孔（T8）を拡大（4枚の写真とも12月15日撮影）
噴気が数箇所から列状に勢いよく上昇している



新噴気孔（T8）より噴出した泥（固結した塊）



新噴気孔（T9）拡大
直径 30cm 程の孔が確認できる。孔の周囲には硫黄の付着が確認できる。

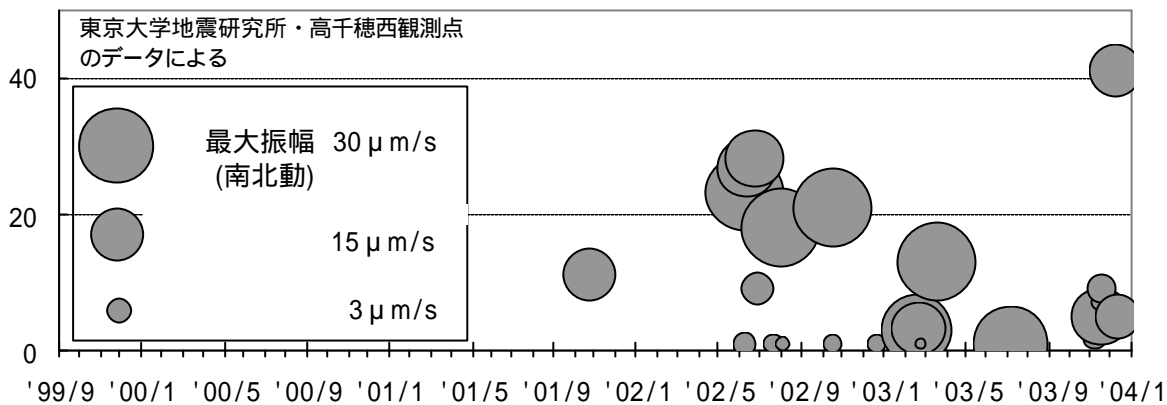


高千穂河原より御鉢を望む。赤印部に上昇した噴気（白色）が確認される。

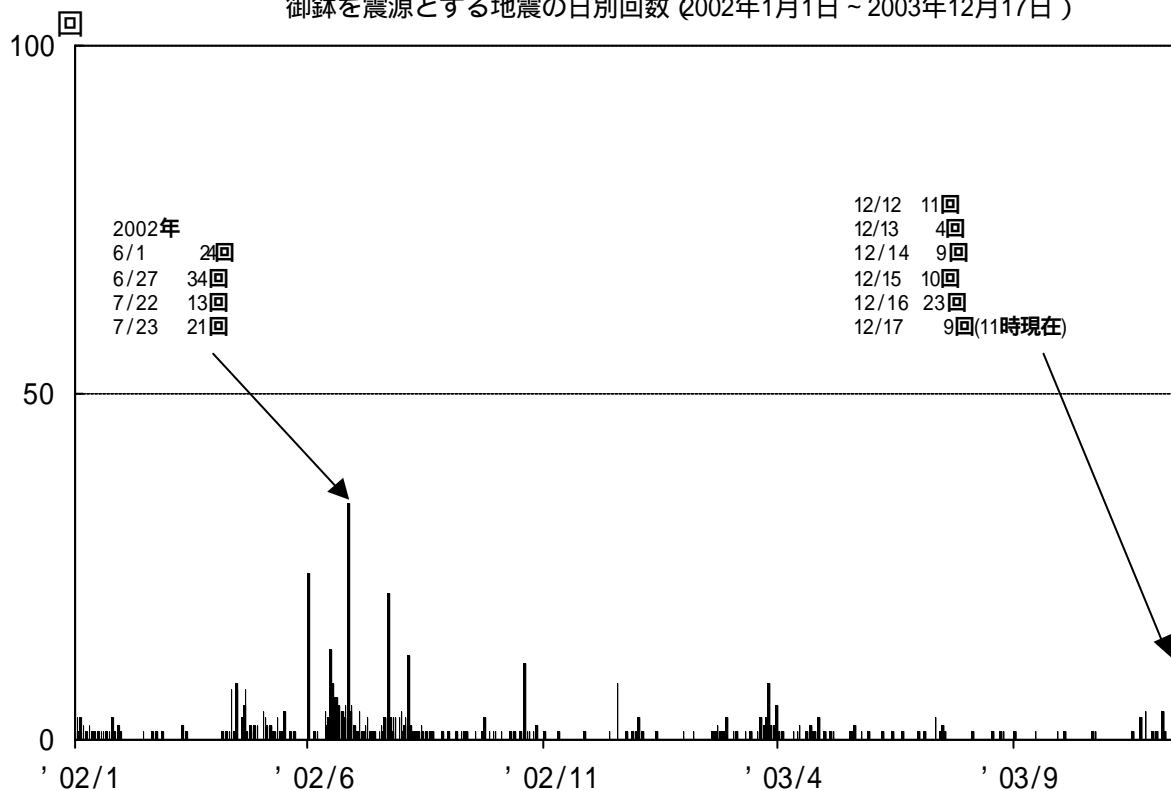
霧島山・御鉢の地震・微動発生状況

微動継続時間
 日合計(分)

御鉢付近の火山性微動



御鉢を震源とする地震の日別回数 (2002年1月1日～2003年12月17日)



御鉢の時間別地震回数（2003 年 12 月 12 日～16 日）

	12/12	12/13	12/14	12/15	12/16	12/17
00-01h	0	0	0	1	0	1
01-02h	0	0	0	0	0	0
02-03h	0	0	2	1	0	2
03-04h	0	0	0	0	1	1
04-05h	0	0	0	2	0	1
05-06h	0	0	1	0	0	2
06-07h	0	1	1	0	1	2
07-08h	0	0	0	0	0	0
08-09h	0	0	0	0	0	
09-10h	0	0	0	1	0	
10-11h	0	0	0	0	2	
11-12h	6	0	0	1	2	
12-13h	2	0	0	2	3	
13-14h	1	1	1	0	1	
14-15h	0	0	0	1	2	
15-16h	0	0	1	0	1	
16-17h	0	0	1	0	1	
17-18h	0	0	0	1	2	
18-19h	1	1	1	0	1	
19-20h	0	0	0	0	2	
20-21h	0	1	1	0	1	
21-22h	0	0	0	0	1	
22-23h	0	0	0	0	2	
23-24h	1	0	0	0	0	
計	11	4	9	10	23	9

東大・高千穂西観測点で計数